１校１名の学校司書配置を

答 図書館の活用を推進する

岡本　亮一　議員（共産党）

学校図書館（田辺中学校）

問　市内中小業者からは、景気回復の実感はないと聞くが、その認識は。

（経済環境部長）今後、商工会等や関係団体等と関係を密にして、必要なものについては対策を講じる。

問　市内の地域経済振興と住環境改善を目的とする「住宅リフォーム助成制度」の実施を求める。

（市長）個人の財産を高め、住宅が高値で売買をされる可能性もあるため、直ちに実施する考えはない。

問　本市では、小学校９校・中学校３校、計12小中学校に４名の司書が配置されている。１名の司書が３つの学校を受け持ち、３週間で一巡しているが、子どもの読書環境の更なる改善を図るために、１校１名の学校司書の配置を求める。

（教育長）今後、学校教育の中で、特に図書教育や、図書館の活用を推進していきたい。

問　動物愛護法に基づき、適正に野良猫を減少させるためにも、他の自治体で効果をあげている避妊・去勢手術費用の助成制度の設置を求める。

（経済環境部長）地域住民による有効な地域猫活動が熟成していない中、補助制度だけが先行しても問題の解決にはつながりにくい。また、特定の個人に対する補助となることが多く、一個人の飼育頭数が増えることにもつながる可能性があるため、現在のところは考えていない。

捕獲イノシシ処分対策を

答 広域的対応含めて研究する

南部　登志子　議員（無会派）

捕獲されたイノシシ

問　普賢寺小学校。㋐特認校だが、地域外の児童数が地元児童数を上回る状態が４年連続している。今後の方針は。㋑普賢寺幼稚園から特認校制度の普賢寺小学校に入学する児童が一定数いる。幼小連携として進めていく考えは。㋒平成31年度より天王の児童もスクールバス通学になった。一方、多々羅地域の児童は全額自己負担でのバス通学。スクールバスの運行もしくはバス費用の負担を求める。

（教育部長）㋐適正に実施できる人数の範囲内で受け入れる。㋑市内で統一的に取組んでいく。㋒多々羅地域から学校までの距離が４キロに満たないため、スクールバスもバス代の補助も考えていない。

問　捕獲されたイノシシは現場で埋めるよう市から指導されているが、野生のイノシシがそれを掘り起し食しているため、悪臭を放つなど環境が悪化している。改善策を。

（経済環境部長）市のごみ処理場では受け入れ困難。広域的な対応も含めて研究する。

問　在住外国人に対する納税通知や検診などの重要書類、国保制度のリーフレットなどに英語表記を。また、急増するベトナム人に対しては、生活や医療面でベトナム語対応ができるよう準備を。

（市民部長）書類の英語表記は困難だが、重要書類とわかる工夫について研究する。英語表記の国保リーフレットについては作成を検討する。

問　上げた議員報酬下げよ。

（総務部長）前議会で議決。

市の観光と農業振興を問う

答 関係団体と連携し進める

榎本　昂輔　議員（自民一新会）

一休寺

問　市の具体的な観光ビジョンとは。

（市長）地域協働型の本市観光の魅力を発信し続けていく。

問　薪地内の山手幹線沿いに一休寺と隣接して道の駅を計画するなど、観光の活性化につながる施策が必要であるが、市の考えは。

（市長）道の駅などの施設は、地域経済活性化の有効な施策の一つと認識している。一休寺周辺の土地の多くが農業用地になっており課題が多いが、農業者やＪＡ、関係団体と連携して研究を進める。

問　農家が安定して販売でき、収益を確保するための行政管轄の販売所等、農家の販路拡大施策について、本市の施策を問う。

（経済環境部長）市の農産物直売所への補助や、ふるさと納税の返礼品といった個人の販路確保の支援に取組んでいる。引き続き販路の維持拡大に努めていく。

問　JR松井山手駅前ロータリーの混雑に対する市の対応は。

（建設部長）周辺住民の声を交通管理者に届けるとともに、公共交通の利用促進施策と連動した取り組みを行っていく。

問　市内の違法ごみ回収業者の取り締まりの強化を要望するが、市の考えは。

（経済環境部長）監視パトロールの強化や田辺警察署との連携で違反者の摘発ができるよう、他市の状況も踏まえ、既存条例の再整備の準備を進めている。

ごみ処理広域化の見直しを

答 安全性を確保しつつ進める

次田　典子　議員（無会派）

希少種のオオタカ

問　オオタカの保護を理由に、枚方市と共同方式で計画しているごみ処理場の稼働時期が２年延びた。これにより、現施設の保守に多くの費用が発生する。府のハザードマップでも危険箇所であり、風向はほとんど本市向きとされる。市の水源でもある。枚方市東部清掃工場建設後、安全性は検証されたのか。計画を根本的に見直すべきだ。

（市長）甘南備園の建て替えという前提から進められている計画なので、ベターな選択としてこれからも進める。

問　市内路線バスの改善について、運転手不足にバス会社も苦悩している。市民もバスの減便で困っているが、市の方針を立てて取組むべきだ。市民に補助するなりして乗客を増やし、路線や便数を確保する手立てをとれないのか。

（建設部長）バス路線維持の取り組みを今後も続けていく。

問　京都市の夜間中学に府内在住者が入学出来るようになった。在勤に限られるが啓発・広報し、通学費補助などの手立てもとって、就学希望者の支援をしてほしい。

（教育部長）市の広報にルビ打ちも含めた掲載を検討する。

問　在勤というハードルを外すことを京都市に要望するとともに、府域での夜間中学設置に向け、市は自主的に動いてほしい。

（教育長）府教委へも要望してきたが、各教育長協議会でも意見交流を行っている。

（市長）教育委員会の判断も尊重しながら進めていく。